

外国人の雇用・労働等に係る統計整備 について

検討事項（案）

委託調査事業により、「外国人の雇用・労働等に係る統計整備に関する研究会」を設置し、以下の事項を検討する。

1

外国人の雇用・労働等に関する統計の現状と、今後の整備の必要性について

- ▶ 国内外における統計の整備状況を把握する。国内において整備が必要と思われる外国人の雇用・労働等に係る統計について、優先順位の整理を行う。
- ▶ 具体的には、1) 労働市場に関する統計（失業率、賃金等）、2) 生活状況等に関する統計（所得、貧困率、若年者教育等）に加え、3) 労働力需給（人手不足）に関する統計について、検討を行う。
- ▶ 検討に当たっては、事業者調査と個人調査の違い、所管省庁についても留意する。

2

外国人の雇用・労働等に関する統計の整備に向けた、技術的課題について

- ▶ 上記1を踏まえ、新たな外国人の雇用・労働等に関連する統計を整備する際の技術的課題の整理を行う。
- ▶ 具体的には、既存統計への調査項目への在留資格の追加、サンプルサイズの増強、層別サンプリングに加え、既存統計の調査項目に合わせた新たな統計の新設、さらに、縦断調査等で外国人から適切な回答を得るための仕組みなどについて検討を行う。
- ▶ 労働力需給調査については、業種別、地域別に、タイムリーに把握する方法（推計も含め）について検討を行う。人手不足感のみならず、離職率、賃金水準、在籍年数、技能等の把握についても留意。

3

外国人の雇用・労働等に関連する業務統計の活用について

- ▶ 外国人雇用状況届出等の更なる活用のための課題や活用方法等の整理を行う。

研究会の委員構成と検討スケジュール（案）

研究会での検討結果は、外国人雇用対策の在り方に関する検討会に報告し、御議論いただく。

氏名(五十音順)	所属・肩書等
井口 泰	■ 関西学院大学 経済学部 教授
神林 龍	■ 一橋大学 経済研究所 教授
小島 祥美	■ 東京外語大学 多言語多文化共生センター長(世界言語社会教育センター准教授)
是川 夕	■ 国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長
佐藤 香	■ 東京大学 社会科学研究所 社会調査・データアーカイブ研究センター 教授
竹ノ下 弘久	■ 慶應義塾大学 法学部 教授
富田 敬子	■ 常磐大学 学長
永吉 希久子	■ 東京大学 社会科学研究所 准教授
林 玲子	■ 国立社会保障・人口問題研究所 副所長
樋口 美雄(座長)	■ 労働政策研究・研修機構 理事長
町北 朋洋	■ 京都大学 東南アジア地域研究研究所 准教授

※ オブザーバー 厚生労働省 職業安定局雇用政策課、政策統括官(統計・情報政策担当)付 審査解析室
出入国在留管理庁 政策課
総務省 政策統括官(統計制度担当)付経済統計担当統計審査官室

